

GS26 CSV/ESGテーマ

テルモでは、企業理念に基づき、テルモのパーパスである「医療の進化」と「患者さんのQOL向上」への貢献を通じた社会価値創造(CSV)をサステナビリティ経営の最重要活動テーマと位置付けています。さらにCSVの推進を支える基盤としてESGに関する重点活動テーマを設定し、CSVとともに取り組んでいます。(サステナビリティ重点活動テーマについては35ページをご覧ください)

2022年度からの5カ年成長戦略「GS26」では、上記のサステナビリティ重点活動テーマに基づき、GS26において取り組むCSV/ESGの具体的な活動テーマとモニタリング項目・KPIを設定しました。CSVの活動テーマでは、予防から診断・治療、予後に至るペイシェント・ジャーニーにおいて、テルモグループが有する幅広い製品・サービスや技術を活かして医療現場や患者さんに価値あるソリューションを提供することで、社会価値と経済価値の両立を実現していきます。ESGの活動テーマでは、製品・サービスの品質と安全性、安定供給の確保や、多様な人材の活躍など、CSVを支える基盤となる活動を中心に、カーボンニュートラルの実現など社会からの要請にも応える取り組みを推進しています。

これらの活動テーマとモニタリング項目・KPIはサステナビリティ委員会で進捗状況を把握し、経営会議・取締役会に定期的に報告を行っています。さらに、2023年度より役員の業績評価指標としてGS26のCSV/ESGの活動テーマに基づいた「将来企業価値目標」を設定し、CSV/ESGに対する役員の貢献度を評価・報酬に適切に反映することで、サステナビリティ経営の実践を通じた企業価値の向上を実現していきます。

GS26 CSVテーマ

各カンパニーが、特長ある製品や技術、医療課題の解決を通じて培ってきた経験・知見を活かして活動テーマを設定し、取り組んでいます。予防から診断・治療、予後に至るペイシェント・ジャーニーの中で、それぞれのカンパニーが強みを活かしたユニークなソリューションを提供することで、治療・入院時間の短縮、現場の業務効率化、医療経済性の向上などの医療価値の創出に幅広く貢献していきます。

テルモが提供する主な医療価値



心臓血管カンパニー

血管内治療において手首の血管(橈骨動脈)からカテーテルを挿入するラディアル手技(Transradial intervention: TRI)の普及に注力しています。ラディアル手技は大腿の付け根の血管(大腿動脈)からカテーテルを挿入する手技(Transfemoral intervention: TFI)と比べて止血の時間が短いこと、治療直後から歩行が可能となること、合併症のリスクも少ないことから、患者さんのQOL向上に寄与します。また、早期回復や日帰り治療が可能になることで医療費の削減*につながります。ラディアル手技を心臓(冠動脈)から下肢動脈、がん、脳血管の治療にも広めるべく、治療対象に応じた最適な製品ラインアップの拡充や医療トレーニングの提供にも尽力しています。

患者さん固有の特徴やリスクに応じて最適な医療を提供する「個別化医療」を実現するための製品・ソリューションの開発にも取り組んでいます。

* 米国を対象とした下記の論文によると、TRIとTFIを比較した場合、TRIの方が1件あたり916ドル医療費が少なく済むとの試算が示されています。
Amit P Amin et al. JACC Cardiovascular Interventions, Amin AP, et al. J Am Coll Cardiol Interv. 2017 Feb, 10 (4)

CSVテーマ	①ラディアル手技の普及 ②トレーニング ③個別化医療の推進
モニタリング項目 KPI	①ラディアル比率(2026年度): 心臓(冠動脈)75%以上、下肢動脈20%以上、がん治療15%以上、脳血管15%以上 ②トレーニング参加医療従事者のべ人数(TIS事業) ③ステントグラフト、放射線塞栓ヒューズ、ハートシート、脳動脈瘤用袋状塞栓デバイス等の普及推進
2022年度 取り組み・実績	①ニューロバスキュラー事業でもラディアル製品の導入に向けて取り組み。TIS事業との連携を促進(2022年度ラディアル比率:心臓(冠動脈)73%、下肢動脈6%、がん治療9%、脳血管5%) ②コロナ禍で減少していた対面でのトレーニング比率が増加し、各地域とも80%~90%に。実施件数も前年比3割以上増加。参加者数は対面比率の増加により前年比2割強減少(2022年度実績:約62千人) ③ハートシートが製造販売承認申請に必要な症例登録を完了

メディカルケアソリューションズカンパニー

医療に関わる全ての人に「質の高い時間(とき)」を創出することをカンパニーのブランドプロミスとして掲げています。医療に関わる時間をできるだけ短くかつ良質なものにすべく、医療現場の課題解決に長年取り組んできた経験の蓄積と現場解決力を活かし、院内での業務効率化・安全性向上に寄与するソリューションや、患者さんの入院・通院の時間短縮、自宅での治療の負担軽減・安全性向上に貢献するソリューションなどを提供していきます。

CSVテーマ	①周術期ソリューション ②外来化学療法ソリューション ③リーナル(腎臓)ケアソリューション
モニタリング項目 KPI	①グローバルで1,000施設導入 ②国内がん拠点病院の20%に導入 ③グローバルで20,000人の患者さんに導入
2022年度 取り組み・実績	①スマートポンプシステムを海外に拡大し導入完了(タイ、イタリア、メキシコ) ②外来化学療法システム(TS-CHOIS):全国で本格的プロモーション開始 ③PD(腹膜透析)治療モニタリングシステム開発および新透析液治療の着実な進捗

血液・細胞テクノロジーカンパニー

輸血医療や血液・細胞治療の分野において、患者さんの治療の選択肢の拡大や、これまで治療を受けられなかった患者さんに必要な治療を届けるべく、適応疾患の拡大や製品・ソリューションを展開する地域の拡大に取り組んでいます。また、採血と製剤化プロセスの自動化を実現する血液自動製剤システムなどの提供を通じて、医療を届けるインフラの効率性向上に貢献していきます。

CSVテーマ	①イノベーションを拡大し、治療を受けられる患者数を増やす ②これまで届けられなかった患者さんに命を救う技術を届ける ③医療提供のインフラを効率化する
モニタリング項目 KPI	①主要製品プラットフォーム 保険償還獲得状況とディスプレイ製品販売数量： ディスプレイ製品販売数量 年率二桁成長 *全血バッグとReveos、TACSI、Trima Accel、Spectra Optia、FINIA、Quantumのディスプレイ製品セット ②中国、アフリカ 売上額増加 ③血液自動製剤システム 累計導入台数増加
2022年度 取り組み・実績	① ・主要製品プラットフォームによる治療患者数の指標となるディスプレイ製品の販売数量が16%増 ・韓国と英国で赤血球交換に対する保険償還を獲得 ② 中国： ・COVID-19による大規模なロックダウンにもかかわらず7%の売上増 ・Spectra Optiaが承認を取得。これにより、より多くの患者が適用拡大された治療法を受けられるように アフリカ： ・18%の売上増 ・ザンビアで全血採血、タンザニアで成分採血を導入 ③ ・血液自動製剤システム：32%の売上増

GS26 ESGテーマ

テーマ	KPI	2022年度実績	
カーボンニュートラル実現	CO ₂ 排出量 (2018年度比、Scope 1+2)	50.4%削減 (2030年度) カーボンニュートラル実現 (2040年度)	21.7%削減
	使用電力の再生可能エネルギー比率	50% (2030年度)	32.1%
資源の有効活用	水使用量 (売上収益当たり、2018年度比)	20%削減 (2030年度)	30.5%削減
	リサイクル率	90% (2030年度)	90.4%
製品・サービスの品質と安全性、安定供給の確保	規制当局からの重大な指摘事項の件数	0件	1件*2
持続可能なサプライチェーンマネジメント	重大な市場欠品	0件	0件
	サプライヤーガイドラインの趣旨に反する重大な逸脱のある取引	0件	0件
労働環境の安全対策推進	死亡・重大労災発生件数	0件	死亡 0件 重大労災 2件*3
アンシエイトエクスペリエンス向上	アンシエイト一人当たりの教育投資*4	—	71,933円 (テルモ株式会社)
多様な人材を活かし価値創造につなげる組織へ	経営役員、グローバル・キーポジション (GKP)の国籍別比率 (外国人比率)	—	経営役員 33.3% GKP 54.0%
	女性管理職比率 (テルモ株式会社)	13% (2026年度)	9.6%
取締役会の実効性	取締役会の実効性評価	毎年実施	実施*5
コンプライアンスの推進	会社の経営に重大な影響を与える法令違反	0件	0件

*1 対象範囲：特に注記のない項目はテルモグループ
 *2 マイクロベンション社 コスタリカ工場に対しFDAがWarning Letterを発行 (2022年9月30日)
 *3 国内0件、海外2件
 *4 KPIを見直し、今後はアンシエイト・エクスペリエンスに関するサーベイの結果を2024年度より開示予定
 *5 実施内容については、82～83ページ「取締役会の実効性評価」をご覧ください。